iPadでPagesを始めよう。

iPadのPagesを購入してしばらく使ってみた。ここで現時点で気付いた点を書いておきたい。

AppStoreのレビューでは「縦書きが出来ない」というのが大きな減点ポイントとして強調されているが、そのことはMacのPagesを使っていたので最初から期待していない。ストアのレビューとは角度を変えて、MacのPagesを使っている人向けに、主な機能の違いをあげてみよう。

違いその1 どんな時でも回り込み

iPadのPagesでも、絵や写真などのオブジェクトを貼り付けることが出来る。

そして、この絵や写真を避けるようにして回り込みが設定 される高機能さは、有名になったこのキリンの例で表現さ れている通りである。

ところが、逆に「回り込みをさせたくない」時に、これを 解除する手段がないのは意外な盲点だろう。



違いその2 縦横比は変えられません

iPadのPagesでは、貼りつけた写真の大きさを変えることはできるが、その際の縦横比はもとの写真の比率で完全に固定され、長さだけ伸ばしたり、と言ったことができない。

確かに、縦横比は変えられなくても多くの場合 問題はないのだろう(そして操作性をシンプル にするために固定してしまうことの合理性も理



解できる)が、私の少々特殊な事情で、この変更ができないのはかなりの痛手である。 MacのPagesと同じように、縦横比を固定するかのチェックボックスを設けてもらえると 嬉しい。

違いその3 PDFを貼りつけられません

これは、実は半分誤解なのだが、こう言ってしまっても差し支えないだろう。

というのも、Pagesの機能としてはPDFの貼りつけは可能なのだが、iPadの機能として

PDFを「コピー&ペースト」の「コピー」をする機能がない。

結果、Pages書類に「ペースト」することができないのである。

iOSの3.2の時点では、メールに添付された1ページのみのPDF 書類については、右の写真のように「コピー」することができ るようになっていたが、最新のアップデートでこれはバグとみ なされ修正されてしまった。

私としては、PDFの任意のページを「コピー」してそれを Pages書類に貼りつけたいので、これは(iOSの)アップデー トに期待している。



違いその4 PDFにフォントが書き出されません

これは地味ながら重要な違いである。

Pagesは、Mac版・iPad版ともPDFでの書き出し機能がついている。書類を送りたい相手がMacユーザーでない場合に、ズレのないレイアウト通りの書類を見せたい場合はPDFで送る事が唯一の選択肢となるので使用頻度は高い。

このとき、Mac版のPagesなら、Pages書類にMacにしかないフォントが使われている場合でも、PDFにアウトラインを書き出してくれるので、表示するマシンを問わず見た目が維持される。

ところが、iPad版では、PDF書き出しの際にフォントのアウトライン化がされないので、 表示先のマシンにないフォントが使われている場合は代替フォントが使われることにな る。それにより、書類作成者が意図しない表示結果となることになる。

ちなみに、実際にIPadからPDFを書き出してみる とAcrobatで表示する時にこんなアラートがでる ファイルが出来てしまった。



埋め込むフォントもあるということなんだろうか...?

具体例をみてみよう。

まず図1が、iPadのPagesで作成中の書類。スクリーンショットの撮影機能で記録したものだ。

これをPDFで書き出して、Windowsマシンで開いてみたものが図2だ。

開いたところヒラギノ等のWindowsにないフォントは 別のフォントに置き換えられているのがわかる。

特に、<u>明朝フォントを使っている所でもゴシックに</u> <u>置き換えられてしまっている</u>のはいただけない。 意外とレイアウトはほぼ維持されているが、フォン ト以外でも字間に不自然な点があるなど、意図しな い表示になってしまっていることには変わりない。

図3は、同じPages書類をMac版Pagesで開いたとこる。

この状態から、PDFで書き出したらどうなるかを試したのが図4だ。ヒラギノ書体や明朝フォントをはじめ、レイアウトも完全に再現されている。

PDFで書き出しをするのは、どんな環境でも同じ見た目になることを期待してのことなのだから、このように動作すべきだろう。

iPadでPagesを始め

iPadのPagesを購入してしばらく使ってみた。ここで現時点の評

ストアのレビューでは「縦書きが出来ない」というのが大きな誠 ズアップされているが、そのことはMacのPagesを使っていたのい。ストアのレビューとは角度を変えて、MacのPagesを使ってい の違いをあげてみよう。

違いその1 どんな時でも回り込み

PadのPagesでも、絵や写真などのオブジェクトを貼り付ける ことが出来る。

図4 Mac版Pagesで出力したPDF をWindowsで開いたところ

iPadでPagesを始め

iPadのPagesを購入してしばらく使ってみた。ここで場時点の評

ストアのレビューでは「縦書きが出来ない」というのが大きな ズアップされているが、そのことはMacのPagesを使っていた い、ストアのレビューとは角度を変えて、MacのPagesを使っ の違いをあげてみよう。

違いその1 どんな時でも回り込み

iPadのPagesでも、絵や写真などのオブジェクトを貼り付ける ことが出来る。

図1 iPad版Pagesで作成中の書類

iPadでPagesを始め

iPadのPagesを購入してしばらく使ってみた。ここで現時点の記

ストアのレビューでは「縦書きが出来ない」というのが大きな ズアップされているが、そのことはMacのPagesを使っていた い、ストアのレビューとは角度を変えて、MacのPagesを使っ の違いをあげてみよう。

違いその1 どんな時でも回り込み

iPadのPagesでも、絵や写真などのオブジェクトを貼り付けることが出来る。

図2 iPad版Pagesで出力したPDF をWindowsで開いたところ

iPadでPagesを始め

iPadのPagesを購入してしばらく使ってみた。ここで現時点の評

ストアのレビューでは「縦書きが出来ない」というのが大きな演 ズアップされているが、そのことはMacのPagesを使っていたの い。ストアのレビューとは角度を変えて、MacのPagesを使って の違いをあげてみよう。

違いその1 どんな時でも回り込み

PadのPagesでも、絵や写真などのオブジェクトを貼り付ける

図3 Mac版Pagesで開いたところ